

もっと知ってほしい小児がんのこと～小児がん支援レモネードスタンド～ 実施報告

日時：平成 29 年 7 月 30 日（日）13 時 30 分～15 時 30 分

場所：こども医療センター周産期棟地下 1 階第 2 会議室

内容：チラシのプログラム参照

結果

参加者：小学生 20 人、中学生 10 人、高校生 8 人 生徒 38 人

見学者（親御さん等） 30 人

合計 68 人

講義：血液・再生医療科 後藤医師より「小児がんってどんな病気」と題して、小児がんの罹患数や腫瘍の説明、成人がんとの違いや治療について等の講義を小学生にもわかるよう説明がされました。熱心にメモを取り、講義後も後藤医師に病気のこと等を熱心に質問する生徒さんが数名いました。



体験談：小学生の時に小児がんで入院治療を行った経験者の方からの体験談がありました。入院中は治療で大変だったことや入院中に仲良くなった友達が亡くなるという悲しい経験をして、友達の名まで頑張ろうと思ったことが話されました。今は大学生で就職活動の真っ最中だが、皆さんに自分の思いを伝えたいと来てくださった。夢をもって人に感謝して生きていきたいというメッセージが伝えられ、生徒さんは熱心に話を聞いていました。



レモネードの作成：小学生、中学生、高校生が入り混じったグループに分かれ、レモネードスタンドの成立ちの動画（絵本）を見た後に、レシピに基づきレモネードを作成しました。こぼさないように気をつけながらレモンの原液と砂糖と水をよくかき混ぜながら作成し、自分たちで試飲しました。酸っぱいと感じたり、おいしいと感じたり、それぞれで、砂糖を追加して自分に合う甘さを調整して試飲していた生徒さんもいました。



レモネードスタンドの模擬

募金活動の模擬ということで、「おいしいレモネードは
いかがですか」と大きな声を出して、呼びかけながら回
るといった募金活動を行いました。募金箱には、事前に
作成された模擬のお金を入れてもらい、レモネードを見
学者（親御さん）に渡す事をしました。

最後に感想文を記載し、グループごとに感想を述べあ
いました。



最後は全員で、集合写真を撮影し、とても楽しく、甘酸っぱいイベントでした。

共催していただいた、認定 NPO 法人キャンサーネットジャパンの皆様、貴重な体験談をお話していただいた経験者様、そして参加していただいた生徒さん、見学者の皆様、充実した時間をありがとうございました。



<アンケート結果>

1 小・中・高校生の結果

(1) 参加者の状況

性別：男性 10人 女性 28人

属性：小学生 20人 中学生 10人 高校生 8人

(2) 申し込み理由 意見を抜粋

【小学生】

- ・小児がんについて聞きたかったから。
- ・医療に興味があり、将来医療に関わる仕事がしたい（医師・看護師・ファシリテイドックのハンドラー）と思っているから。
- ・小児がんやレモネードスタンドについて知るため
- ・きょうだいが小児がんでもっと病気の事を知りたいと思った。
- ・学校の先生やお母さんからすすめられて興味を持った。
- ・小児がんの子を助けたいと思ったから。

【中学生】

- ・以前からレモネードスタンドのイベントに参加したいと思っていた
- ・学校内にチラシが貼ってあり、興味をもったのでこのイベントに申し込んだ。
- ・レモネードスタンドとはどのようなものかわからなく気になったから。
- ・小児がんとはどのようなものか、知らないのでどんな病気かを知りたかったから
- ・夢がまだきまってないけど、これをきっかけに何かを目指してみたいと思った。
- ・学校の英語の教科書にレモネードの本文があり、くわしく知ってみたいと思った。
- ・親が教えてくれたので気になって来た。

【高校生】

- ・友人から誘われ、レモネードスタンドとは何か興味を持ったから。
- ・学校からのプリントを見て興味をもったから。
- ・ポスターをみて、小児がんについて、くわしく知りたいと思ったから。
- ・医療関係に興味がある。将来医療関係に就きたい。
- ・レモネードスタンドを自分も部活等でやってみたいと思い申し込んだ。
- ・親ががんになり、少し勉強になるかと思ったから。

(3) 小児がんについて思ったこと・感じたこと

【小学生】

- ・がんとはおそろしいものだった。
- ・小児がんだからといって私と違うわけではないのだと思った。私たちや家族が助けること、助け合うことが大切なのだ思う。
- ・患者さんの大変さがわかった。これからの研究で患者さんがはやく、できるだけ苦しい思いをせず治ってほしい。私たちがレモネードスタンド等できることがあったら

たいと思う。

- ・小児がんは、70%~80%の確立で治るが30%~20%の確立で治らないことがわかった。
- ・私達と同じ年頃の子が重い病と戦っている。私達が普通に過ごしているいいのかと思った。前を向いて歩いている小児がんの子ども達に私達ができる小さなことを一つずつ支援していけば未来へつながると思った。
- ・科学的な進歩が進み、将来小児がんが予防もできるような世の中になって欲しい。
- ・体験者の話を聞いて、きょうだいもとてもつらい思いをしていたと思った。
- ・小児がんという病気が細胞に異常がでること、その細胞が増殖しがんになってしまう事を知って、とてもおどろいた。しかし、70%~80%が治るということで安心した。
- ・小児がんでつらい思いをしている友達がいたらレモネードスタンドの募金をやろうと思った。
- ・小児がんは治らないと思い込んでいたが、治ると知ってすごいと思いった。体験談も聞くことができ、とても勉強になった。早く絶対に治る病気になってほしい。
- ・体験談を聞き、とても治したいという気持ちが伝わってきた。自分と同じくらい小さい子どもたちが小児がんを聞き、自分は毎日がしあわせだと感じる事ができた。
- ・小児がんの子どもが、抗がん剤の影響で髪がぬけてしまったりするのはかわいそうだと思った。これからはみんなが治るように研究がすすんでほしい。
- ・小児がんは薬で治療ができるなら簡単に治るのかと思ったけど、1年~2年以上治療にかかると聞いてやっぱり大変だなと思った。
- ・子どももがんができるということは今回のイベントで初めて知った。がんについての説明が分かりやすく、経験者の話がきけて良かった。

【中学生】

- ・多くの子ども達のがんと闘っていると思い、がんは治っても一生つきあっていかなければならない。もし、目の前で困っている人がいたら助けたいと思った。
- ・実際に、小児がんになった方の話を聞き、これからは1日1日を大切にしたいと思った。
- ・小児がんは大人より治りやすいので大丈夫かと思ったが、治らず命をおとってしまうことがあるということを知り悲しく思った。
- ・今日参加して、小児がんや小児がんになるとどうなるのかがよくわかった。
- ・小児がんは70%~80%まで治せる病気になり、医療が進んできたことがわかった。
- ・たった1つの細胞が異常をおこして病気をおこさせるのはすごいなと思った。がんは自分が自分を攻撃するの”なぜ”起きてしまうのか研究するのは難しいと思った。

【高校生】

- ・自分よりも小さい子どもたちが「小児がん」と闘っていると思うと、自分が普通の生活をしていることに幸せを感じ、自分に何ができるか考えていきたいと思った。
- ・がんになっていることに早く気づくように日頃から注意するべきだと思った。
- ・子どもでもがんになるということを知る事が出来てよかった。

- ・子どもと大人で、かかるがんの種類がちがうのだということや子どもの方が治りやすいことを学び、小児がんの方が治りやすいのは、子どもは大人よりもまだ先の長い人生が残っているから全員とは限らないけれどよかったなと思った。しかし、手術をする時に子どもの方が大人よりも体が小さいから危険なリスクもあるからがんは大変な病気だということが改めてわかった。医療がもっと発展すれば良いと思った。
- ・私の中学の時の友人が小児がんで入院していて今も会えないままにいる。体験談で病院にいる子ども達は病気だが、中身は私達と同じふつうの子どもとして毎日を楽しめている一面もあるとわかり良かった。
- ・がんで苦しんでいる人がいるというのを知り、自分がどれだけ幸せな場所にいるのかというのがわかった。1日、1日、大切に過ごそうと思った。
- ・がんについて、学校で習ったことがあったが、小児がんについて習っていなかったのが今日のイベントで詳しく知ることができてよかった。実際に小児がん患者だった方の話を聞くことができて、非常に興味深い話が多く、参加して良かったと思った。小児がんだけでなく、がんを早期発見・早期治療が一番で、少しでも体に異常を感じたら病院に行くことが大事だと改めて感じる事ができた。今日のイベントを通して、もっと医療について知りたいと思った。

(4) レモネードスタンドについて思ったこと・感じたこと

【小学生】

- ・レモネードはとってもおいしかった。
- ・アレックスのやさしく人を思う、その気持ちが今の社会のあり方を少し変えられるきっかけになったのだと思った。今の社会のあり方を変えられるようにがんばった女の子アレックスをみんなが知ることが大切だと思った。
- ・レモネードスタンドをやることで、研究のためのお金を集めることになり、たくさんの小児がんの患者さんに治ってほしい。でもまだ研究に必要なお金は足りないので、私達もレモネードスタンドをやり、小児がんの患者さんの役に立ちたいと思う。
- ・アレックスは、自分の病と戦うと同時に周りの子ども達のことも考えて募金活動をしたが、私には考えられない。私の担任の先生の甥が心臓の病気にかかり、治療のための募金活動に参加したが、なかなかお金があつまらなくて落ち込んだ。このような状況も乗り越え勇気をだして行動したアレックスは見習うことがたくさんあった。今回の講座を機に、改めて「病気」と向き合い過ごしたい。
- ・なぜレモネードなのだろうと思っていましたが意味がわかり、アレックスはとてもやさしいなと思った。他の子の事まで考えていてすごいと思った。
- ・わたしの家でも作って売ってたくさんの子どもの救いたいと思う。
- ・すこしでもがんの子どものために活動できればうれしい。
- ・レモネードスタンドをやっている子に出会ったら、募金しようと思った。
- ・先生たちが、甘かったらレモンをふやして、酸っぱかったら砂糖をふやしてと、やさし

く教えてくれたので、楽しくうれしかった。

- ・レモネードには、願いがこもっていることを初めて知った。
- ・レモネードスタンドを行って、たくさんの子の病気が治るようになってほしい。積極的に募金活動に参加したいと思った。
- ・最初に DVD で見た、アレックスが考えたことはすごいことだと思う。自分のことより人のこと、というアレックスの姿に感動した。
- ・アレックスは、まだ 4 歳なのにほかの人のことを考えてレモネードスタンドを考えられるのがすばらしいと思った。私も少しずつ、こういう子どもたちのために協力したい。
- ・アレックスの思いがレモネードにはたくさんつまっていると思い、わたしもレモネードスタンドをやってみたいなと思うことができた。

【中学生】

- ・このイベントに参加する前まで、レモネードスタンドを開催することは大変なのではないかという印象だったが、思ったよりも手軽にできると思った。レモネードスタンドを開かなくても、積極的に募金に参加をしたり、少しでも力になりたいと思った。
- ・学校などの行事で、友達とレモネードスタンドをやってみたいと思った。
- ・アレックスの話の聞きとても感動し、私もレモネードスタンドをして、たくさんお金を集めて小児がんの子どもを一人でも助けたいと思った。
- ・DVD で、アレックスのがんばりを見るためにレモネードスタンドに来たり、「おつりはいらないよ」と言ってくれる人がいると思うと心があたたかくなってきた。今回はじめてレモネードスタンドを体験できて私は楽しかったし、これが病気の人のためになると思うと文化祭などでやってみたい。とってもいい体験ができてよかった。
- ・レモネードスタンドはただ普通に募金などをするよりも美味しく、楽しく支援することができ、小さい子どもから大人まで誰もが参加しやすい形でとても良いと思った。たった 1 杯のレモネードでもたくさん売ればその分だけ小児がんの子どもたちが救われる道が広がるので、自分の高校の文化祭でも取り入れて欲しいと思った。1 杯のレモネードが果たす役割の大きさを感じた。
- ・レモネードスタンドをして少しでも人が助かったらいいと思った。体験してとても楽しかった。
- ・4 歳の子が考えて、行動に移したことが、全世界の人が知っていくようなことになったことがすごくすばらしいことだと思う。
- ・レモネードスタンドは他の募金と違って自分が計画し・作り・伝えるのですごく良い活動だと思う。だから 9 月の文化祭などの大きなイベントや近所での BBQ など小さなイベントなどでも「アレックス・レモネード・スタンド」を聞いて 10 円でも 100 円でも多くの支援ができたらいいなと思う。

【高校生】

- ・レモネードスタンドを学校の文化祭で開いてみたいと思った。

- ・4歳の女の子が発案したということに驚いた。売るものが「レモネード」だということに意味があることを知り、おどろいた。小児がんや募金についてわかり良かった。
- ・小児がんの患者さんの体験談を聞くことができ、良い経験ができた。レモネードスタンドの意味がわかり、病気の子が他の病気の子のために行っているのは偉いと思った。だから、私たちも何かできたら良いなと思った。
- ・レモネードスタンドのことを知らない人が、まだ自分の周りに沢山いると思うので、今日知ったことを伝えられたらいいと思った。
- ・少し気まずかったが、僕的には十分楽しめた。売り上げたお金（レモネードスタンド）で病院の研究開発費に充てるというのがとてもいいと思った。
- ・ただの募金ではなく、レモネードを通して小児がん患者の役に立つことができるというのを初めて知ったし、自分でもやることができるというのが新たな発見だった。募金を自分から始めることは難しいことだと思っていたが、自分が思っていたよりももっと手軽に始めることができると知ったので、ぜひレモネードスタンドをやってみたいと思った。また、レモネードスタンドなどをやっているのを見かけたら積極的に協力したいと思った。

2. 見学者の結果

(1) 参加者の状況（参加者は30人だが、アンケートは27人の回収）

性別：男性 5人 女性 22人

属性：親 21人 その他 6人

(2) 申し込み理由

- ・小児がんについて知りたかったから
- ・子ども・兄弟・姉妹が小児がんだから
- ・知人、友人が小児がんだから
- ・家族や知人ががん（大腸がん・乳がんなど）なのでがんについて知りたかったから
- ・レモネードスタンドの話をTVで見たことがあったから
- ・ボランティア活動や、社会貢献に興味があったから
- ・送迎（付き添いのため）
- ・周囲に「小児がん」、私の家族では両親と夫が"がん"に罹患して患者家族として何ができるということで病院のパンフレットスタンドでこちらのイベントについて知り、レモネードスタンド開催のための学習ということで参加した。
- ・病院に息子が他の病気を通しており、身近に感じているため勉強したいと思った。

(3) 感想

- ・がんという病気について学び、考えるよい機会となった。子どもにもわかり易い説明だったので、小学生の子ども色々と考えさせられと思う。同じ小学校のお友達も一緒に参加していたので、本日のこの機会を实践できたらいいと思う。

- ・がんという病気について、大人のがんと小児がんの違い等、子どもにも分かり易く説明していただき勉強になった。また、レモネードスタンドの活動はとても興味深く、家に帰ってから親子でがんという病気について話し合ってみたい。
- ・小児がんという言葉は耳にした事があったが、日本でも多くの子どもが辛い思いをしている事を知った。このような機会が学校などを通して出来ればもっと多くの支援につながると思う。
- ・医師の話はとても分かりやすく、子ども達もとても勉強になったと思う。体験談の話も子ども達にとっては非常に良い経験になったと思う。本日のイベントを通じ、小児がんや病気で闘っている子どもの事や健康の大切さを感じてもらえたらと思う。
- ・あらためて小児がんについて知ることができた。細胞からの話、わかりやすかった。もっと活動が広まるように祈ってます。
- ・小児がんについて、子どもにも分かりやすく説明して頂きありがとうございました。もし、自分がなったら身近な人がなったら・・・何が出来るだろうと考えるよい機会になった。文化祭などでレモネードスタンドをしよう！と子どもが提案できるとよい。経験者の話は勇気をいただいた。私も子どもも日々感謝して毎日をすごしたいと思う。
- ・小児がんについて小中高が知るには適切な時間配分、内容だった。小学校低学年には難しいかなと思われたが、病気のたとえを近視について、原始時代と現代の場合で話をされ、子ども達にはわかりやすかったと思う。体験談は子ども達の心に響く話だった。私はドナルドマクドナルドハウスの活動に参加しています。今後も子ども達の幸せのためお互いがんばりましょう。
- ・がんの人をもっと助けたいと思った。
- ・病気のことも勉強になったが、こういう活動について知らなかったので今後何かの形で応援できればいいなと思った。
- ・子ども達(2人)が小児がんやその他の病気・障害を持っている子ども達のことを知る良い機会、きっかけになったと思う。先生のお話だけでなく小児がん経験者の体験をご自身の言葉に話されているのも心に残った。
- ・以前テレビでレモネードスタンドの話を知り、興味を持っていた。今回このような素晴らしい機会をこども医療センターで開催されて良かった。小児がんについて、勉強することができ、医師の話真剣に聞いている子どもの表情が印象的だった。子ども達が作ってくれたレモネードはとてもおいしかった。これからの小児がんの治療などに少しでも役に立てたらいいなと思った。
- ・地味で地道な活動、ご苦労様です。
- ・小児がんの事、初めて知った。大人のがんと違いある事、がん治療の研究にかなりのお金がかかる事、レモネードスタンドで多くの方に役に立つなら自分でもやってみたい。
- ・とても参考になった。健康である人こそ知るべきだと思う。沢山の人が、子ども達に知って欲しいので毎年やってほしい。

- ・未来のある子ども達の健康管理を大切にしたいと思った。団地のお祭り（来年）の担当なので、レモネードスタンドをやってみようかなと子どもと相談した。子ども達もいい勉強になった。
- ・子どもは小学校5年生になり、少しずつ世の中のことに目を向けて欲しいと思い、この会に参加してとても良かった。アレックスのレモネードスタンドの話は感動して涙がでた。レモネードスタンドを通じて多くのことを学び少しでも力になれる様に家に帰ってからもう一度子どもと話したいと思う。
- ・小児がん患者さんの治療をサポートするために、レモネードスタンドなどの活動は大切だと感じた。
- ・小児がん経験者の貴重な話をうかがえて大変よかった。子どもも話をきいて何か感じてもらえたと思う。
- ・研究が進み、小児がんで苦しむ子どもと家族が少なくなる事を期待したい。とても良い企画に参加でき良かった。
- ・レモネードスタンドについて、TV の番組の特集で見たことがあったので（最近新聞の記事でも掲載されました）子どもにとってよい体験になり、自分の学校で広められるといいなと思う。
- ・私は残念ながら患者さんの苦しみはわかりません。科学の進歩に貢献することはできないが、社会のあり方については私たちの家族でも変えられると思う。私達もできる限り社会を変えるお手伝いができるようレモネードスタンドを開催したいと思った。
- ・資料や説明が、子どもたちや知識の少ない私にもわかりやすくしてあり、すんなり頭に入った。小児がん経験者の話は心に強く伝わってくるものがあった。